

大関のこども



坂井市立大関小学校

令和5年度学校だより第12号

令和5年7月 5日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>

自分自身と向き合い、自分の素晴らしさに気づく！

先日、大安禅寺の高橋玄峰副住職のお話を聴く機会がありました。「禅」というので難しい話かなと思ったのですが、禅の教えを日常の生活の中で具体的に例を挙げながら、わかりやすく楽しくお話ししてくださいました。その内容を一言で言うと、「外に求めるのではなく、自分の内なる光に目を向ける」ということです。私たちはよく他人と比べ、それによって判断をしがちです。

「あの人みたいになりたい」「あの人と比べてこうだ」と。あるいは他人の光でもって自分自身も輝いているように錯覚することもあります。しかし、他人に照らされているものは、必ず足下に「影」ができます。自らが輝いていればその影はできず、そしてその輝きは人が誰でも内に持っているものであり、外と比べている間は気づくことができません。

難しいことです。それができないから人は思い悩むのですが、これを教育に当てはめたとき、私たちが教師も、「子ども一人ひとりではなく、誰かと比べていないか」「世の中がこうだからと押しつけてはいないか」と様々に思うところがあります。それが必要な場面もありますが、基本はその子が本来持っている輝きに目を向け、どうしたら自ら輝けるようになるかということをご自分からも考えていきたいと思えます。

「天気予報聞き逃したる一日は雨でも晴れでも腹が立たない」(俵万智)



天気予報という他の情報を取り入れることで、雨か晴れか心配し、予報が外れれば腹が立つものです。しかし、そういったものを最初から気にしなければ、どっちであっても腹は立ちません。人をラベリングするのではなく、その子自身をしっかり見つめていきたいと思えます。

新大関音頭収録

7月11日(火)と12日(水)に、新大関音頭の収録を行います。創立150周年記念事業の一環で、旧大関音頭の音源を作り残していくのと同時に、子どもたちの想いを歌詞にした「新大関音頭」を作り、これも収録して残そうということです。

全校児童の歌声と学年ごとの歌声で収録します。また、音源はCDにして全児童に配布する予定です。



写真は左上・2年町たんけん、右上・3年坂井市めぐり、左下・456年ひまわり教室